

最終報告書

神谷宗幣議員インターン 名前：杉岡宏基

■テーマ

【1】社会問題に対する自分のアクションプラン

設定課題「ふるさとをよくしたい」

私はこのインターンを通して、様々な方と触れ合い、お話を聞かせて頂きました。その中ですべての方々に共通していたのは、自分自身の原点である、地元、家族を大切にするという事でした。それを受けて、自分自身も考えてみましたが、やはり自分が今生きているという事実も、生活している状況も、すべては地元、家族があるからだという考えにいたりました。どんなに素晴らしい人でも、成功した人でも、地元、家族を大切にしていなければ何の意味もないと思います。また、他人を幸せにしたい、他人のために役に立ちたいといった、公のために働くという、人生の最終目標がありますが、まずそのためには、地元、家族と言った身近な原点に立ち返りたいです。地元、家族を幸せにできないような人間に、他人の幸せを考える資格などないと思います。

実際に起こすアクションとして考えられるのは、まず地元に戻り、同じような課題に取り組んでいる民間団体や、地方議員さんにお話を聞いて、どのような取り組みを行っているのかと言った点や、きっかけなど意見交流ができればと考えています。そして何より大切なのは、地元で生活するという事だと思います。客観的にみるのではなくて、主観的に物事を見るためにも、生活の拠点を移すことが必要だと考えます。そして地元の実情を知ることが最善の策だと思います。

実際に、同じような志を持った仲間と共に、行動をしていくことが必要だと考えます。そして、地域の事に関して、大きな力を持って大胆に改革、提言できるのは、政治家であると思うので、そのための行動を起こしていかなければならないと考えています。また地元において、地域活性化に向けた取り組みをしている活動を見受けたことは全くありません。大きな都市に、吸収合併をされた中で、多くの田舎同様に若者が減り、限界集落一步手前と言われています。

地域特有の、文化、産業、観光を中心とした、まずはまちの活性化から始めたいと考えます。

【2】 議員インターンシップを通して気付いたこと、学んだこと。

私は、この2か月間のインターンを通して、様々な分野において成長することができたと感じています。大きなことから、小さなことまでそれは多々あると思いますが、インターン参加前から、「これだけは成長したい」と強く願っていた部分に関して、特筆したいと思います。

私は、話す力、文章を書く力、要点を簡潔にまとめる力の3点が特に身についたと感じています。

この3点は、私が最も伸ばしたいと考えていたもので、インターンの目標でもありました。インターン期間中は、人前に立って話をしたり、みんなで意見を出しあったりと、スピーチや議論をする機会がほとんどでした。また、日報、週報、スタッフブログ、企画書など、文章を書くという作業がかなりありました。常に話す、書くという行為があり、毎日のように繰り返すことで、私の大きな力へと変わっていきました。何事も経験することの大切さと、継続することは力になると肌で感じました。また様々な講演会への参加や、議員さんによるセミナーなどで、話の内容、構成、立ち振る舞い、オリジナリティーといった部分にも触れ、より一層刺激を受けました。

このインターン期間で、私は、多くの成長を実感できました。何もわからない、何もできないそんな自分を、受け入れてくださり、根気強くご指導してくださった、神谷宗幣議員をはじめ、会派のみなさん、事務スタッフの方々、そしてインターンの期間中に会った全ての方々に感謝したいと思います。この出会いがなければ、自分の成長はなかったといっても過言ではありません。私が、期待にんでいたのかは疑問ですが、このインターン期間で学んだすべての事を、今後の人生において有意義に活用し、それを持って恩返しできればと言う風に考えています。

本当にありがとうございました。